

## 野菜生産の大規模化と独自の販路で新市場を開拓

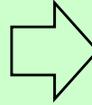
～ベジタブルワークス(株)代表取締役 佐々木伸 氏〔真狩村〕～

### 経営体の概要

事業実施前：平成17年

基幹作物：ブロッコリー、小豆、スイートコーン、アスパラガス

経営面積：20.0ha



事業実施後：令和3年

基幹作物：ブロッコリー、にんじん、アスパラガス、かんしょ

経営面積：100.5ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

事業開始前は、小区画・不整形で傾斜による機械転倒の危険性もあったが、本事業により大区画化やほ場条件が改善した。また、自社で大型の野菜収穫運搬機やにんじん収穫機を開発・導入するなど農作業の効率化を進めるとともに離農地を継承し、ブロッコリーの大幅な作付け拡大と経営面積約100haの地域を代表する法人経営を実現した。独自の販路を築き、ブロッコリーを首都圏へ独自配送するほか、アスパラガスの輸出等にも取り組んでいる。

### 営農改善のポイント

#### ①作物の変化

ほ場条件の改善等による大規模化が可能となり、ブロッコリーの作付けを10haから80haに大幅拡大した。アスパラガス、にんじんを加え、需要が多い3品目に特化し、年間通じた作業体系により通年雇用を確保している。令和3年度から、北海道におけるかんしょ栽培の可能性を検討するための実証に取り組んでいる。



自社によるブロッコリーの選果作業

#### ②省力化

自動操舵装置の導入により、前進作業（口の字作業）で完結し、耕起・砕土や播種等でバックする時間や費用（燃料）が削減し、大型トラクターによる効率化が図られた。また、独自に野菜収穫運搬機とにんじん収穫機を開発したことで、人力を最も要する収穫作業を効率化し大規模栽培を支えている。



ブロッコリー収穫  
(野菜収穫運搬機を利用し  
コンテナに集める)

#### ③流通・販売の工夫

ブロッコリーは関東圏を中心に全国の契約スーパーに供給している。配送のため大型冷蔵トレーラーを4台導入し、自社で運送を行っている。また、アグリフードEXPO東京に毎年参加し輸出を行うバイヤーと商談成立したことから、アスパラガスのSサイズをフリーズドライ（ピザ用）にして中東ドバイに輸出している。



大型冷蔵トレーラー

### 事業概要

事業種：国営農地再編整備事業

関係市町：北海道虻田郡真狩村

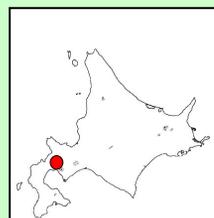
受益面積：1,028ha

事業期間：平成19年度～平成27年度

事業目的：区画整理・農地造成

主要工事：区画整理987ha、農地造成5ha、  
道路4.8km

### 位置図（北海道）



真狩地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業計画課 計画第1係

電話：011-709-2311

(内線5522)

(令和3年度調査時点)